

# 第60期 中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日



前田建設工業株式会社

## 目次

株主の皆様へ	1
MAEDAニュース	3
グループ会社紹介	4
完成工事紹介	5
施工中の工事紹介	6
単体財務諸表(中間)の要旨	7
連結財務諸表(中間)の要旨	8
会社の概要	9
役員	10



夢を紡いで現実を創りだすのが、  
人間の仕事です。  
前田建設は、夢に挑み、  
21世紀を開拓します。

表紙：ストーンカッターズ斜張橋（香港）完成予想CG  
（平成16年4月受注）

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成16年9月30日をもって、第60期の上半期を終了いたしましたので、ここに中間の営業の概況をご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、世界経済の回復基調を背景に、輸出は好調を維持し、民間企業の設備投資の増加や収益の改善が進むなか、雇用情勢や所得環境も厳しさが残るものの緩やかに回復し、個人消費にも明るさが見え始めるなど、景気は堅調に推移いたしました。

建設業界におきましては、民間建設投資では事務所や店舗などの非住宅建設投資が増加し、総じて緩やかな回復基調に転じたものの、公共投資は国、地方ともに財政の悪化を反映して引き続き減少するなど、建設投資全体では依然として厳しい状況にありました。

このような情勢のもと、当社は、建築工事においては大型再開発物件や得意とする超高層集合住宅の受注を伸ばすとともに、企画提案等を含めたソリューション力を活かして、医療や教育などの分野において着実に実績を積み重ねました。土木工事では、これまでに培った技術と実績をもとに、海外において総合評価方式で大型工事を受注するなど、全社を

挙げて積極的な営業活動を展開してまいりました。

当上半期の受注高につきましては、建築工事が1,241億円余、土木工事が543億円余で受注高合計は1,784億円余となりました。また、売上高（完成工事高）につきましては、建築工事が755億円余、土木工事が303億円余で売上高合計は1,058億円余となりました。

利益につきましては、当初計画に対して若干ながらも改善し、完成工事総利益は65億円余、経常損失は38億円余となりました。また、固定資産の減損会計について、財務のより一層の健全性と透明性を図るため、平成17年度の強制適用を待つことなく、当中間期において早期適用したことにより、中間純損失は75億円余となりました。

今後の見通しにつきましては、海外の景気減速や政情不安、原油価格の高騰などの不安要因を抱え、景気が調整局面へと移行することも予想されます。建設業界におきましても、企業の設備投資の増加が民間建設投資全体を押し上げるだけの力強さは持たず、公共投資はさらに減少傾向にあり、引き続き厳しい状況が続くものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社は、市場のニーズや変化に対応した技術力と価格競争力の向上、新規市場領域の開拓、グループ全体の事業活動の効率化などを重点施策とした平成16年度を初年度とする「第3次中期経営計画」を策定し、全社一

丸となって取り組んでおります。また、企業の社会的責任を十分に認識し、コーポレートガバナンスなどのより一層の充実強化に取り組んでまいります。これらの活動を通じて、顧客に信頼される企業として、厳しい経営環境にあっても常に新しいことに挑戦し続けるとともに「利益ある成長」の実現を目指し、より一層の社業の発展に努力を重ねる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月



代表取締役社長 前田靖治

## — 医療分野のエンジニアリング型受注 — 「東芝林間病院新病棟」を設計施工で受注

当社は、東芝健康保険組合より東芝林間病院の新病棟を設計施工で受注しました。今年6月に起工式が行われ、現在では、小田急線東林間駅前の緑豊かな樹木に囲まれるように建設が進められています。

199床の新病棟は、看護サービス向上のために病室を小規模にグループ化したクラスター方式を採用しました。また、全てのベッドに専用の窓を持つ病室は、プライバシーに配慮した個室のような間取りとなっており、21世紀の新しいタイプの病院といえます。

将来計画にまで踏み込んだ建築コンサルティングやPC工法を採用した品質確保など、来年6月の竣工に向け、本支店の技術を結集して取り組んでいます。



### 【工事概要】

所在地：神奈川県相模原市上鶴間  
発注者：東芝健康保険組合  
工期：平成16年6月～平成17年6月  
敷地面積：32,825㎡  
建築面積：3,231㎡  
延床面積：11,745㎡  
構 造：RC造一部S造、地下1階、地上5階

## 新潟・福島豪雨、福井豪雨に対して 緊急救援物資や義援金を送りました

今年7月の新潟・福島豪雨災害及び福井豪雨災害に対し、当社は緊急救援物資として毛布1,100枚等を輸送しました。また、全社で募金した義援金を福井県の美山町をはじめ6つの地方自治体へ送り、被災された方々への災害見舞金や復旧支援金として活用していただきました。

## 「ホテル カデンツァ光が丘」が 10周年を迎えました

光が丘本社に隣接する「ホテル カデンツァ光が丘」（今年4月より新名称）が開業10周年を迎えました。「カデンツァ」とはイタリア語で「Cadenza」、ピアノやヴァイオリン協奏曲において、独奏者がソロで自由に演奏する最も華やかで盛り上がる部分のことです。「素晴らしい時間をホテルでお過ごしいただきたい」という意味を込めてこの新しい名称といたしました。

### 「ホテル カデンツァ光が丘」の5大特色

1. 新宿から約30分の静かな郊外型ホテル
2. 運動施設ドーム（1,266㎡）とスポーツジムの利用、そしてコンビニ隣接
3. 快適かつろぎのゆったり客室、シングル7坪・ツイン10坪
4. 充実のお食事・懇談会、和食・洋食・中華・ベーカリー直営
5. 多種多様な宴会場・研修施設有り

交通：各駅より送迎バスをご利用下さい。

東武東上線「成増駅」・東京メトロ有楽町線「地下鉄成増駅」より約10分、都営大江戸線「光が丘駅」・西武池袋線「練馬高野台駅」より約5分。





### 正友地所株式会社

正友地所は前田建設の不動産関連事業の拡充に伴い、昭和60年に不動産専門会社として設立されました。自社開発による分譲マンション事業を主力に、ビル・マンションの賃貸事業、戸建て用地の分譲、仲介業務など幅広く事業を展開しております。

自社開発による分譲マンションは、レックス (Recs) (Recreative 安らぎ、Communication 触れ合いのある、Space 空間) シリーズを自社ブランドとして、人と住まいのより良い関係を追求した建物を提供することをモットーに、主に首都圏を中心として事業展開してまいりました。

現在はそのレックスシリーズの一環として、神奈川県鎌倉市に「レックスガーデン鎌倉岡本」(総戸数124戸・12階建)を販売中で、ご好評をいただいております。また、臨海副都心(東京都江東区有明)において、(株)プロバストとの共同事業で超高層タワーマンション「ガレリアグランデ」(総戸数413戸・27階建)を販売しております。

今後も当社は時代のニーズにマッチし、お客様に喜んでいただける価値の高いマンション及び宅地の分譲を行ってまいります。

賃貸事業では、現在事務所ビルとして札幌ビル、広島ビル及び飯田橋センタービルの3棟、賃貸マンションとしてレックスハイツ新宿五丁目の40戸を所有し、その他貸店舗として3店舗を賃貸経営しており、今後も各ユーザーにとって快適で、かつ利便性の高い賃貸資産を提供することを念頭に、経営基盤の充実に努めてまいります。

不動産仲介及び受託業務などにおいては、前田建設グループの取り扱い物件を中心に据え、幅広くグループ以外のお客様とも、それぞれのニーズにあった調査・企画・提案、業務提携などを通じて、業容の拡大に努めております。

今後とも当社は、前田建設グループの一員としてたゆまぬ研鑽と自己啓発に努め、信頼と実績を積み重ねることによって、不動産事業を通じて社会への貢献に邁進してまいります。



ガレリアグランデ

#### 【会社概要】

本店所在地：〒102-0072

東京都千代田区飯田橋3-11-18

TEL 03-3230-4977

営業所：仙台営業所、広島営業所

設立年月日：昭和60年2月7日

資本金：5,000万円

売上高：94億9,646万円(平成16年3月期)

代表者：代表取締役社長 亀谷敏明

従業員：12名(平成16年3月末現在)

- 事業の主な内容：
1. 不動産調査・企画・コンサルタント
  2. 不動産開発・販売
  3. 仲介・賃貸
  4. 宅地造成・地域開発

宅地建物取引業：国土交通大臣(5)第3979号  
免許番号

URL：<http://www.seiyujisyo.co.jp/>

## 完成工事紹介



### 知多横断道路建設工事（土工・横断14-1号）

当工事は、愛知県道路公社発注の知多横断道路建設工事のうち、愛知県常滑字小森地内に位置する半地下構造物の建設工事です。約12万㎡の地中連続壁をTRD工法（ソイルセメント地中連続壁工法）にて施工を行いました。



### 勝央文化ホール

当施設は、岡山県勝央町の生涯学習を支える総合文化施設（図書館・美術館・文化ホール）として建設されました。県内でも有数の舞台規模を誇る文化ホールは音楽はもちろん、今まで公民館では実施できなかった本格的な舞台芸術や演劇、古典芸能などのさまざまなジャンルに対応できる多目的空間となっています。



### キャノン電子(株) 美里事業所

当工事は、キャノン電子(株)美里事業所のライン拡張の一環として、クリーンルームを含む床面積6,950㎡（地上2階建）の工場棟、及び4,272㎡（平屋）の物流棟を設計施工したものです。デザインコンセプトをドイツ風とし、黒色の斜め屋根、外壁は茶のタイル調窯業系サイディング、白色のサッシ、花台を設置しています。



### 岩国飛行場(14)滑走路移設南防波堤工事

当工事は、広島防衛施設局が発注する既設滑走路の1km沖合移設に伴う港湾設備を新設する工事のうち、南防波堤71BL中19BLの本体を構築する工事です。施工途中で潮の干満及び波浪の影響を受ける構造となっているため、防波堤の下部分及び側面の一部をPCa化して施工を行いました。

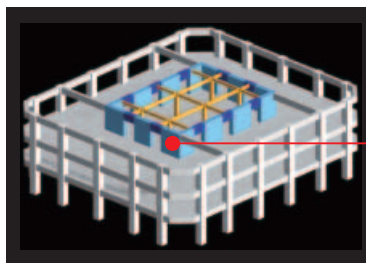
# ライオンズタワー月島



長大スパン床PCa板取付作業



進捗状況全景



コア廻り（センターコア）に柱を連続させたような厚い壁（ハイウォール）を配置して建物内部に柱のない大きな空間を実現します

東京都中央区月島に建設中の「ライオンズタワー月島」は、センターコアハイウォール構造と長大スパンの床PCa板を採用した平面計画により、住戸内にまったく柱のない空間を実現した画期的な建物として、平成17年12月の完成に向け順調に工事を進めています。

外構には街並みと調和した樹木を配置して、昔ながらの路地の雰囲気を出し、当マンションはもとより近隣住民の方々にも快適な住環境を提供できる建物と期待されています。

### 【工事概要】

所在地：東京都中央区佃2-10

発注者：株式会社大京

工期：平成15年2月～平成17年12月

延床面積：39,575.0㎡

構造：鉄筋コンクリート造

地下2階、地上32階、塔屋1階

# 単体財務諸表(中間)の要旨

## ●貸借対照表

科目	(単位:百万円)	
	当中間期	前中間期
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>430,492</b>	<b>451,771</b>
現金預金	33,848	47,209
受取手形	9,337	13,550
完成工事未収入金	48,074	30,865
有価証券	104	618
未成工事支出金	285,100	303,746
その他	54,026	55,781
<b>固定資産</b>	<b>142,637</b>	<b>143,087</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>59,582</b>	<b>67,249</b>
建物・構築物	23,237	26,045
機械・運搬具	3,821	4,250
工具・器具備品	1,082	1,165
土地	31,400	35,769
建設仮勘定	40	18
<b>無形固定資産</b>	<b>4,507</b>	<b>2,145</b>
投資その他の資産	78,547	73,692
投資有価証券	66,466	58,524
その他	12,081	15,167
<b>資産合計</b>	<b>573,130</b>	<b>594,859</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>356,642</b>	<b>374,605</b>
工事未払金	59,706	52,281
短期借入金	31,391	27,546
未成工事受入金	234,578	265,000
その他	30,965	29,776
<b>固定負債</b>	<b>73,731</b>	<b>75,294</b>
社債	34,000	34,000
長期借入金	8,000	8,000
退職給付引当金	28,649	30,065
その他	3,081	3,228
<b>負債合計</b>	<b>430,373</b>	<b>449,899</b>
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>23,454</b>	<b>23,454</b>
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	73,825	77,936
其他有価証券評価差額金	13,919	12,004
自己株式	△22	△16
<b>資本合計</b>	<b>142,756</b>	<b>144,959</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>573,130</b>	<b>594,859</b>

(注)有形固定資産の減価償却累計額

511億円

511億円

## ●損益計算書

科目	(単位:百万円)	
	当中間期	前中間期
<b>売上高</b>	<b>105,824</b>	<b>111,090</b>
売上原価	99,260	104,670
販売費及び一般管理費	10,975	11,188
<b>営業損失</b>	<b>4,411</b>	<b>4,767</b>
営業外収益	1,401	1,289
営業外費用	830	961
<b>経常損失</b>	<b>3,840</b>	<b>4,439</b>
特別利益	462	1,714
特別損失	6,547	259
<b>税引前中間純損失</b>	<b>9,924</b>	<b>2,984</b>
法人税、住民税及び事業税	70	112
法人税等調整額	△2,488	△463
<b>中間純損失</b>	<b>7,506</b>	<b>2,633</b>
前期繰越利益	2,079	1,982
<b>中間未処理損失</b>	<b>5,427</b>	<b>651</b>
(注)1株当たりの中間純損失	40円54銭	14円22銭

## ●業績予想

	(単位:百万円)	
単体	当期予想	前期実績
<b>売上高</b>	<b>413,000</b>	<b>432,783</b>
<b>経常利益</b>	<b>7,500</b>	<b>5,563</b>
<b>当期純利益</b>	<b>500</b>	<b>2,503</b>
<b>連結</b>	<b>当期予想</b>	<b>前期実績</b>
<b>売上高</b>	<b>463,000</b>	<b>484,318</b>
<b>経常利益</b>	<b>9,000</b>	<b>7,401</b>
<b>当期純利益</b>	<b>700</b>	<b>3,261</b>



# 連結財務諸表(中間)の要旨

## ●貸借対照表

科目	(単位:百万円)	
	当中間期	前中間期
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>453,416</b>	<b>474,450</b>
現金預金	35,882	50,704
受取手形・完成工事未収入金等	68,600	55,987
未成工事支出金	288,971	306,585
その他	59,962	61,172
<b>固定資産</b>	<b>170,935</b>	<b>172,997</b>
有形固定資産	73,076	82,371
建物・構築物	34,073	39,723
機械・運搬具・工具・器具備品	6,827	6,971
土地	31,987	35,632
建設仮勘定	187	43
無形固定資産	4,629	2,283
投資その他の資産	93,229	88,342
投資有価証券	78,046	70,641
その他	15,182	17,700
<b>資産合計</b>	<b>624,352</b>	<b>647,448</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>381,220</b>	<b>400,043</b>
工事未払金等	69,569	60,246
短期借入金	51,753	46,595
未成工事受入金	236,705	266,753
その他	23,191	26,447
<b>固定負債</b>	<b>81,857</b>	<b>83,674</b>
社債	33,500	33,500
長期借入金	12,712	12,723
退職給付引当金	31,634	33,266
その他	4,010	4,184
<b>負債合計</b>	<b>463,078</b>	<b>483,717</b>
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	2,681	2,961
<b>少数株主持分合計</b>	<b>2,681</b>	<b>2,961</b>
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>23,454</b>	<b>23,454</b>
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	94,045	98,162
その他有価証券評価差額金	14,234	12,230
為替換算調整勘定	△51	△53
自己株式	△4,670	△4,603
<b>資本合計</b>	<b>158,592</b>	<b>160,769</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>624,352</b>	<b>647,448</b>

## ●損益計算書

科目	(単位:百万円)	
	当中間期	前中間期
<b>売上高</b>	<b>128,826</b>	<b>131,416</b>
売上原価	118,678	121,144
販売費及び一般管理費	14,011	14,473
<b>営業損失</b>	<b>3,863</b>	<b>4,200</b>
営業外収益	1,237	1,067
営業外費用	1,180	1,130
<b>経常損失</b>	<b>3,806</b>	<b>4,263</b>
特別利益	538	1,716
特別損失	8,103	273
<b>税金等調整前中間純損失</b>	<b>11,371</b>	<b>2,820</b>
法人税、住民税及び事業税	257	321
法人税等調整額	△2,991	△313
<b>少数株主損失</b>	<b>487</b>	<b>56</b>
<b>中間純損失</b>	<b>8,149</b>	<b>2,772</b>

## ●キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位:百万円)	
	当中間期	前中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,503	20,606
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,603	△2,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,545	△26,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	△198
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	3,395	△7,977
現金及び現金同等物の期首残高	32,213	58,407
現金及び現金同等物の中間期末残高	35,608	50,430

## ●剰余金計算書

科目	(単位:百万円)	
	当中間期	前中間期
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	31,579	31,579
資本剰余金中間期末残高	31,579	31,579
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	104,196	102,263
利益剰余金減少高	10,150	4,101
利益剰余金中間期末残高	94,045	98,162

# 会社の概要 (平成16年9月30日現在)

●創業 大正8(1919)年1月8日

●設立 昭和21(1946)年11月6日

●資本金 23,454,968,254円

●従業員 3,488名

●ホームページアドレス <http://www.maeda.co.jp/>

●会社が発行する株式の総数 635,500,000株

●発行済株式総数 185,213,602株

●株主数 10,283名

## ●大株主リスト

株主名	持株数	議決権比率
光が丘興産株式会社	24,311千株	13.32%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	22,018	12.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,122	7.74
前田建設工業社員持株会	6,883	3.77
前田道路株式会社	6,750	3.70
株式会社みずほコーポレート銀行	5,459	2.99
株式会社三井住友銀行	5,170	2.83
株式会社損害保険ジャパン	3,410	1.87
明治安田生命保険相互会社	3,000	1.64
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	2,687	1.47

## ●事業所

- 本店 東京都千代田区富士見2の10の26  
〒102-8151 ☎ (03) 3265-5551
- 光が丘本社 東京都練馬区高松5の8 J.CITY  
〒179-8903
- 北海道支店 札幌市中央区南11条西11の2の1  
〒064-8552 ☎ (011) 551-6141
- 東北支店 仙台市青葉区二日町4の11  
〒980-0802 ☎ (022) 222-1231
- 関東支店 東京都千代田区九段北4の3の1 (一口坂中央ビル)  
〒102-8215 ☎ (03) 3222-0820
- 東関東支店 千葉市中央区中央3の3の1 (フジモト第一生命ビル)  
〒260-0013 ☎ (043) 227-3031
- 北関東支店 さいたま市大宮区大門町3の169の2 (セコム損保大宮ビル)  
〒330-0846 ☎ (048) 649-1601
- 長野支店 長野市篠ノ井御幣川1095  
〒388-8006 ☎ (026) 292-0671
- 横浜支店 横浜市神奈川区反町2の16の8  
〒221-0825 ☎ (045) 313-7000
- 北陸支店 富山市牛島町18の7 (アーバンプレイス)  
〒930-0858 ☎ (076) 431-7531
- 福井支店 福井市手寄1の16の14  
〒910-0858 ☎ (0776) 24-2401
- 中部支店 名古屋市中区栄5の25の25  
〒460-0008 ☎ (052) 251-6251
- 関西支店 大阪市西区江戸堀1の3の15 (新石原ビル)  
〒550-8515 ☎ (06) 6446-9511
- 神戸支店 神戸市中央区三宮町1の3の1 (神戸Fビルディング)  
〒650-0021 ☎ (078) 321-3248
- 四国支店 高松市寿町1の1の12 (東京生命館)  
〒760-0023 ☎ (087) 851-6341
- 中国支店 広島市中区鶴見町2の19 (ルーテル平和大通りビル)  
〒730-0045 ☎ (082) 246-9181
- 九州支店 福岡市博多区博多駅東2の14の1  
〒812-0013 ☎ (092) 451-1541
- 香港支店 Room 1601-1605, New East Ocean Centre,  
9 Science Museum Road, Kowloon, Hong Kong.
- 技術研究所 東京都練馬区旭町1の39の16  
〒179-8914 ☎ (03) 3977-2241
- 営業所 全国37ヵ所
- 海外事業所  
 ゲーム出張所 (米国)  
 バンコック出張所 (タイ)  
 プノンベン出張所 (カンボジア)  
 台湾出張所 (台湾)  
 ロサンゼルス駐在員事務所 (米国)  
 ジャカルタ駐在員事務所 (インドネシア)  
 北京駐在員事務所 (中国)  
 上海駐在員事務所 (中国)  
 ハノイ駐在員事務所 (ベトナム)  
 ヤンゴン駐在員事務所 (ミャンマー)

## 役員 (平成16年9月30日現在)

取締役名誉会長	前田 又兵衛
取締役会長	布施 洋一
代表取締役社長 執行役員社長	前田 靖治
代表取締役 執行役員副社長	峯本 守
代表取締役 執行役員副社長	上田 恵一郎
取締役 執行役員副社長	廣田 正
取締役 執行役員副社長	佐藤 英治
代表取締役 専務執行役員	川嶋 信義
取締役 専務執行役員	友部 雄策
取締役 専務執行役員	工藤 和男
取締役 専務執行役員	前田 操治
取締役 専務執行役員	江尻 正義
取締役 執行役員	福田 幸二郎

監査役(常勤)	皆合 達夫
監査役(常勤)	加藤 敏夫
監査役(常勤)	上杉 慶次
監査役	城内 康光
監査役	桑田 勝利

専務執行役員	加藤 彰
常務執行役員	大和 稔
常務執行役員	富岡 康直
常務執行役員	藤森 泰明
常務執行役員	中島 治郎
常務執行役員	山田 和男
常務執行役員	大木 俊英
執行役員	井上 隆三郎
執行役員	高橋 勉
執行役員	横田 浩
執行役員	劔地 弘隆
執行役員	川瀬 祥一郎
執行役員	赤島 正晃
執行役員	市川 泰彦
執行役員	新藤 周一
執行役員	竹内 利征
執行役員	長谷 康生
執行役員	永尾 眞
執行役員	横沢 和夫
執行役員	田口 神酒雄
執行役員	小原 稔生
執行役員	西川 博隆

- (注) 1. 監査役皆合達夫、城内康光及び桑田勝利の3氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。
2. 取締役佐藤英治氏は、平成16年10月29日逝去いたしました。



# 前田建設工業株式会社 Maeda Corporation

## ●株主メモ

1. 決算期 3月31日
2. 定時株主総会 6月中
3. 上記基準日 3月31日  
なお、あらかじめ公告して、基準日を定めることがあります。
4. 配当金 毎年3月31日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対してお支払いします。
5. 1単元の株式の数 1,000株
6. 名義書換代理人 みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
〒103-8670  
東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
7. 手数料 無 料  
株券再発行 1枚につき262円（消費税含む）
8. 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞  
※当社は決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページ（<http://www.maeda.co.jp/>）に掲載していません。
9. 郵便物送付及び電話お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒135-8722  
東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
☎(03) 5213-5213（代表）



この事業報告書は環境にやさしい大豆油インキで印刷しています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しております。